

平成 30 年度 宮島観光学入門（英語）講座

平成 30 年度の「宮島観光学入門（英語）」は 10 名の学生が受講しました。リチャード・ウェーバー先生から宮島の歴史や文化や、外国人観光客に対するガイドのノウハウを学び、宮島でガイドの練習を行いました。また、今年度はガイドの補助ツールとして大鳥居や狛犬、高舞台などの説明に使用するイラストの作成にも力を入れました。とくに言葉では表現することが難しい舞楽の説明の際には、舞楽「蘭陵王」の写真やイラストが役に立ちました。



学生が作成したイラスト。観光客から好評を得た。

12 月 2 日には学生が宮島を訪れ、3 グループに分かれて英語ガイドを実践しました。宮島の商店街の出口付近、石鳥居の前で待機し、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、トルコからの観光客を厳島神社出口まで英語で案内しました。大鳥居の大きさや構造を説明する際には、事前に用意しておいたイラストが役に立ちました。

現地ガイドに参加した学生からは、「ガイドや観光業に興味があり、この授業を通してガイドを行うことの魅力や課題に気が付くことができたので、受講してよかった。また、ガイドツアーを通して、シナリオ通りに進めることや、たくさん説明することよりも、相手に満足してもらえ、相手に楽しい旅だったと思ってもらえることが大切だということに気がつくことができたことが、一番の収穫でした。異文化の情報を伝えるためにガイドするのではなく、情報はあくまで異文化の空間を楽しんでもらうツールにすべきであると思った。授業が終わった後も、個人的に宮島での英語ガイドを続けたいと思った。」などの声が聞かれました。